

令和5年5月27日掲載

熊本日日新聞 読者の広場

3年 田中 彩絵（たなか さえ）さん

タイトル：「ハイヤで吹かせた『稜南乃風』」

私たちの中学校では、毎年体育大会でハイヤ踊りに取り組んでいます。踊りだけでなく唄や三味線、太鼓の演奏も生徒たちだけで行うのが特徴で、私たちは「稜南ハイヤ」と呼んでいます。

今年は全校生徒で踊ることになり、私はハイヤの全体責任者として、他のリーダーとともに稜南ハイヤをみんなに教える役割になりました。少ない時間の中でどう練習を進めるか、リーダーの仲間と練習計画を立てましたが、いざ全校生徒での練習が始まるといろいろな課題が発生しました。

どうしたら全校生徒で稜南ハイヤをつくり上げることができるのか悩み、途中で諦めそうにもなることもありました。うまくいかないところは昼休みを使って練習しました。毎日毎日練習しているとだんだんと踊りの動きが上達していることが実感でき、「もう少し頑張ってみよう」と前向きに思えるようになりました。

そして本番。踊りも唄も演奏もかけ声も、最高に楽しく発表できました。踊り終わってたくさんの拍手をもらった時には、ここまでがんばることができて本当によかったと思いました。

私たちの学校では、学校で学んだことや身に付けたことを地域に発信することを「稜南乃風」と言っています。きっと地域に、天草に、熊本に「稜南乃風」を吹かせることができたと思います。中学校最後のハイヤは、練習の苦しさも本番の感動も私の中で忘れられないものになりました。